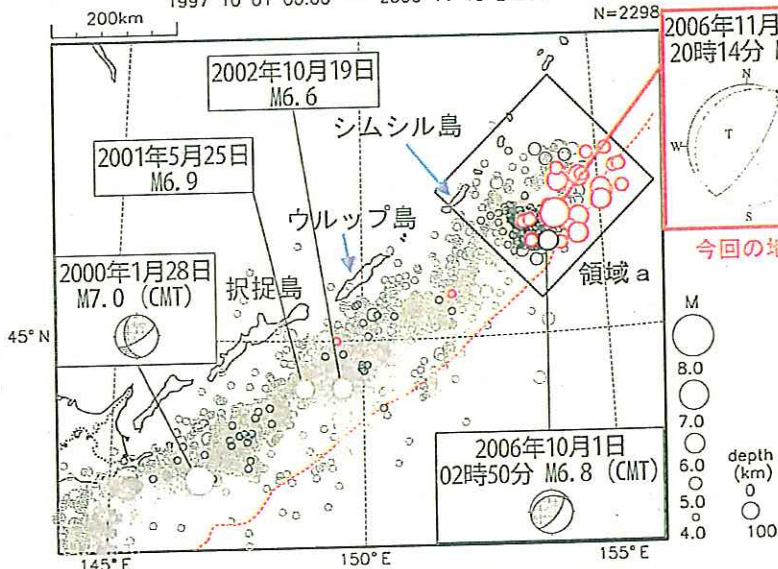


11月15日 千島列島の地震

A 震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 4.0$)

2006年9月以降の地震を○、2006年11月15日以降の地震を○で表示している。
1997 10 01 00:00 -- 2006 11 19 24:00

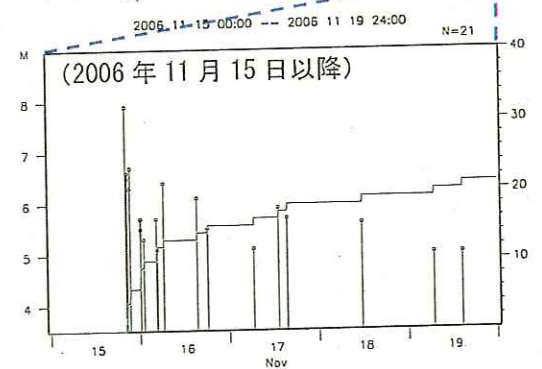
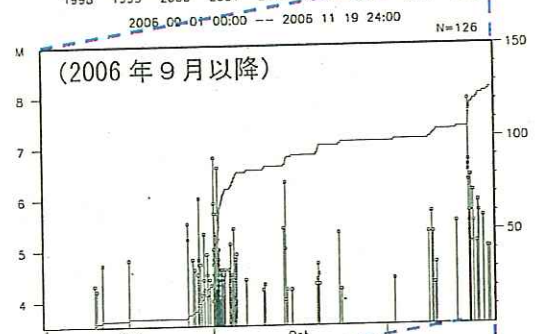
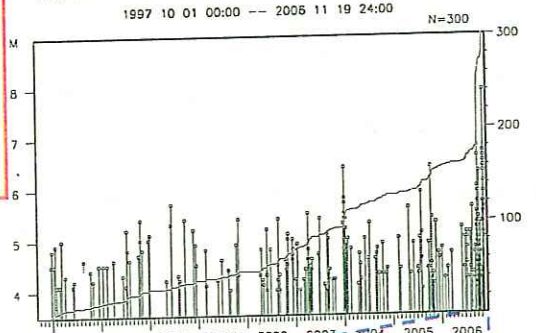


[今回の地震の発震機構解はハーバード大学によるCMT解]

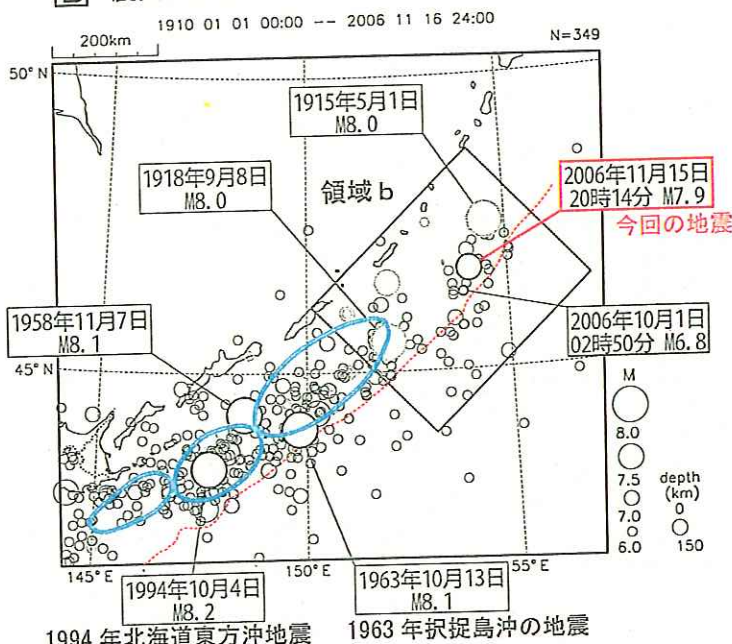
2006年11月15日20時14分に千島列島でM7.9(最大震度2)の地震が発生した。発震機構(ハーバード大学によるCMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、北米プレートと太平洋プレートの境界付近で発生した地震と考えられる。この地震に伴い、三宅島坪田で0.8mなど、オホーツク海と太平洋沿岸及び伊豆諸島の広い範囲で津波を観測した。

今回の地震の震源付近では、9月下旬から10月初旬にかけて地震活動が一時活発であった(最大の地震は10月1日02時50分のM6.8(震度1以上を観測した地点なし))。 (A)

領域a内の地震活動経過図、回数積算図



B 震央分布図 (1910年以降、 $M \geq 6.0$)



1994年北海道東方沖地震 1963年択捉島沖の地震
楕円状の領域は地震調査委員会による千島海溝沿いの想定震源域の
大まかな位置を示す(南西側から根室沖、色丹島沖、択捉島沖)
1923年7月以前の地震の震央は歴史記録などからの推定位置であ
り、灰色の○で示している。

今回の震源域の周辺(領域b)は、1915年5月1日にM8.0、1918年9月8日にM8.0の地震が発生するなど、過去にも津波を伴うような規模の地震が発生している領域である。(B)

